

鹿児島市議会議員

平山 タカヒサ

市民とスクラム！ 市政にトライ！！

2016年
議会報告 vol.01

自宅 〒891-0116
鹿児島市上福元町 5779-5
電話 099-267-0300
携帯 090-8769-6584



平成28年第2回市議会 定例会が開催

平成28年第2回市議会定例会は、6月14日に開会し、30日の最終本会議において、議案17件を可決し、閉会いたしました。

今議会においては、公共交通不便地対策事業やコミュニティ助成事業、児童クラブ施設整備事業や降灰地域防災営農対策事業、安全安心住宅ストック支援事業や消防車・救急車の買換え等、一般会計において総額で約9億1,829万円の追加補正となりました。

平山タカヒサを市議会へお送りいただき、
3カ月が経過いたしました。

ごあいさつ

皆様にはお変わりなくお過ごしのこととご推察いたします。皆様の力強いご支援により、平山タカヒサを鹿児島市議会へお送りいただき、早いもので3カ月が経過をいたしました。この間、産業観光企業委員会・桜島爆発対策特別委員会に所属し、議員活動をスタートいたしました。議会特有の取り決めなど、戸惑いもありました。これまでは職員として市政に関わってきましたが、今後は議員として、皆様と共に市政発展に向け取り組んでまいります。

今後とも、ご意見やご指導を賜りますようお願い申し上げます。

なお、所属会派は「社民・市民フォーラム」になります。

我が会派からは、森山きよみ市議が個人質疑を行いました。

未だ終息しない福島第一原発事故からの復興や震度7が連続して発生した熊本地震を受け本市の現状と課題、市議選の低投票率への今後の対応、世界ジオパーク認定見送り等について当局の見解を質しました。

当局からは、国や県の対応や本市の計画、課題や今後の見通し等について答弁がありました。

今回は、熊本地震を受けての質疑が多く出され、危機管理の在り方が改めて問われた議会となりました。

虚礼廃止に関する申合せ（抜粋）

政治倫理の確立を図り、もって国民の政治に対する信頼を回復するため、虚礼廃止に関する下記具体的な事項について、地域住民の理解と協力を求めながら廃止することを申し合わせる。

年賀状や暑中見舞い等の発送
歳暮や中元等の贈答
冠婚葬祭における祝電や弔電等の発送
名刺広告や寄付行為
親族を除く答礼のための自筆の挨拶状等



身近な市政相談は、
TEL 090-8769-6584 まで
お気軽にご相談ください。

市政報告

06月
議会号

〒892-8677
鹿児島市山下町11-1
鹿児島市議会社民・市民フォーラム控室
電話：099-216-1438
FAX：099-226-1019
<http://www.sdp-kagoshima-city.org>

コミュニティ助成事業 3団体へ助成決定

町内会等のコミュニティ活動に必要な設備等の整備に対して助成を行う「一般コミュニティ助成事業」として、玉里町町内会等2団体が決定しました。助成決定額は360万円で、簡易ステージ他備品の整備や、座卓兼用テーブル他備品の整備等に使われます。また、集会施設等の建設や大規模修繕等の整備に対する助成を行う「コミュニティセンター助成事業」として1団体が決定し、コミュニティセンターの建設に対して1,290万円の助成が決定しました。

これらの事業は、宝くじの社会貢献広報事業を活用して実施しており、最終的に一般財団法人自治総合センターにおいて決定されます。

児童クラブ整備事業で 10クラブを施設整備

今年の5月1日現在、市設置の児童クラブは113か所5,109人の児童が利用しています。今回の補正により、4か所の児童クラブが開所され、当局によると91名の待機児童が解消されるようです。

また、今年度中に西谷山第二・第三を含む10クラブの施設整備費約8,600万円が計上されました。

クラブ環境の改善が図られることにより、子どもたちが健全に育成されることが期待されます。



安全安心住宅ストック 支援事業を拡充

4月に連続して震度7を記録した熊本地震は、改めて自然災害への備えが重要であることを認識させられました。



本市では、これまでも上記事業により、耐震診断や耐震改修工事費等の一部を補助する制度がありましたが、今回の地震災害を踏まえて、予算を倍増する補正を行いました。

詳しくは、建築指導課まで。

改めて福島を視察 社民・市民フォーラム

東日本大震災から5年が経過、熊本地震後も稼働し続ける川内原発に怒りを感じるなか、5月24日、福島県浪江町役場を視察し、原発事故後の状況と課題、展望について学んできた。

町議会議長からは、2万千人だった町を、まずは5千人に再建したい。ただ、帰宅困難地域指定が解除される来年4月までに間に合うか不安とのこと。除染作業が進まない現状に苦慮されていることを聞き、未だ原発事故からの復旧・復興が終わっていないことを実感させられた。



放置されたままの浪江町農協請戸支所